

学校通信

あわやっこ

学校教育目標 “夢や目標の実現に向かってねばり強く歩み続ける児童の育成”

気温の変化が大きい春です。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。適度な運動、バランスのよい食事での体の抵抗力を高め、この時期を乗り切りたいものです。

授業参観・PTA 総会等

ありがとうございました！

4月14日(金)には、おいそがしなか授業参観、PTA総会等にお越しくださり、ありがとうございました。保護者の皆様には、児童の張り切って頑張っている姿をたくさん見ていただけたことと思います。1年生にとっては、小学校生活初めての参観授業でした。緊張したところもあったとは思いますが、音楽に合わせて体を動かすことで、少しずつリラックスしながら学びに向かうことができていました。

今年度は、今回の参観日を含めて、5月運動会、6月参観日、10月学習発表会、11月参観日、1月参観日、2月参観日と年間計7回、児童の頑張っている姿を直接見ていただけるよう計画しています。是非数多くご来校いただき、児童の頑張りを直接見て、児童へのプラスの声掛けにつないでいただければ嬉しいです。



1・2年生 音楽科



3・4年生 体育科



5・6年生 家庭科

裏面「5月行事予定・下校予定時刻」掲載

本の世界にひたりたい

先日、廊下を歩いていると、高学年の児童から「校長先生、ぼく『こそあどの森』の続きを読んでいるんです」と声をかけられました。「こそあどの



森」とは、全10巻とシリーズ化されている「こそあどの森」の第1巻「こそあどの森 ふしぎな木の実の料理法」という少し長めの本のことです。この本を給食時間に毎日5～7分読んでいます。4/21現在、第1巻の全10章のうちの第5章を読んでいるところです。「スキッパー」という男の子に、固い固い『ポアポア』の実が届きます。でも、その料理法を書いた手紙が読めなくなってしまい、森のみんなで知恵をしぼり、その料理法を見つけようとします。しかし、なかなかその料理法が分かりません…」というお話です。

小学生のうちに本の世界にひたる経験は、これから先の人生をととても豊かなものにしてくれます。また、「学ぶことの楽しさ、面白さを自分自身で感じ取ることの第一歩、それが本に親しむことではないかと感じています。小学生の今の時期に、いろいろなジャンルの本にふれる機会をもつことで、自分で本を選んで読むきっかけにしたいと考え、給食時間の本読みを続けています。自らの力で学びに向かう力は、自分で本を選んで読むことからスタートするのではないのでしょうか。自分の好みでなかったら途中辞めもOK。本の世界を自分の頭の中で映像化することができるようになると、どのジャンルの

学習にもプラスの効果が表れます。まずは、本を手にとってみてはいかがでしょうか。